



平成 14 年 10 月 17 日

各 位

上場会社名 メ ッ ク 株 式 会 社
(コード番号: 4971 大証NJスタンダード)
本社所在地 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
問 合 せ 先 社長室長 坂本 佳宏
TEL 06-6414-3451

平成 15 年 3 月期業績予想の修正と当社近況に関するお知らせ

当社は 11 月 12 日(火曜日)に平成 15 年 3 月期中間決算の発表を予定しておりますが、最近の経済環境・業界情勢を踏まえ、平成 14 年 5 月 20 日の決算発表時にお知らせいたしました平成 15 年 3 月期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)の連結・単体とも中間業績見込みと通期の業績予想を下記のとおり修正すると共に、お知らせいたします。

記

1. 平成 15 年 3 月期中間業績見込み数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)

(1) 連結中間業績見込み

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当中間期純利益
前回発表予想 (A)	2,861	240	146
中間業績見込み (B)	2,755	271	133
増減額 (B-A)	106	31	13
増減率	3.7	13.0	8.9
前年同期実績 (C)	2,600	155	83
前年同期比((B/C)×100)	105.9	174.7	160.3

(2) 単体中間業績見込み

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当中間期純利益
前回発表予想 (A)	2,121	84	49
中間業績見込み (B)	2,142	122	60
増減額 (B-A)	21	37	10
増減率	1.0	43.9	22.3
前年同期実績 (C)	1,982	22	15
前年同期比((B/C)×100)	108.1	551.3	399.4



2. 平成 15 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,933	771	470
今回修正予想 (B)	5,577	611	320
増減額 (B-A)	356	159	150
増減率	6.0	20.7	31.9
前期実績 (C)	5,228	530	289
前期比 ((B/C)×100)	106.7	115.4	110.9

(注) 1 株当たり予想当期純利益は 62 円 95 銭になります。

(2) 単体業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,311	401	232
今回修正予想 (B)	4,286	339	186
増減額 (B-A)	25	61	46
増減率	0.6	15.3	19.9
前期実績 (C)	3,945	287	150
前期比 ((B/C)×100)	108.6	118.2	123.8

3. 修正の理由

(1) 中間業績見込みについて

連結売上高は当初予想に対して 1 億 6 百万円減少し、27 億 55 百万円(当初予想比 3.7% 減、前年同期比 5.9%増)となる見込みであります。この理由は、中国華中地域における電子基板の量産開始が当初予想より遅れていること、および欧州の市場環境が予想以上に厳しい状態であるためであります。単体売上高は、ほぼ当初予想どおりの 21 億 42 百万円(当初予想比 1.0%増、前年同期比 8.1%増)となる見込みであります。

販売に関しては数量ベースで前年同期実績を上回っておりますが、厳しい市場環境のもと価格面で影響が出ております。

連結経常利益は、当初予想に対し 31 百万円増の 2 億 71 百万円(当初予想比 13.0%増、前年同期比 74.7%増)で単体経常利益は 37 百万円増の 1 億 22 百万円(当初予想比 43.9%増、前年同期比 451.3%増)となる見込みであります。この理由は、機械の販売が落ち込んでいるものの利益率が高い薬品の販売は堅調に推移しているためであります。

連結中間純利益は、当初予想に対し 13 百万円減の 1 億 33 百万円(当初予想比 8.9%減、前年同期比 60.3%増)となる見込みであります。単体中間純利益は 10 百万円増の 60 百万円(当初予想比 22.3%増、前年同期比 299.4%増)となる見込みであります。

(2) 通期業績予想の修正について

連結売上高は、当初予想に対し 3 億 56 百万円減の 55 億 77 百万円(当初予想比 6.0%減、前期比 6.7%増)、単体売上高は、25 百万円減の 42 億 86 百万円(当初予想比 0.6%減、前期比 8.6%増)となる見込みであります。この理由は、10 月以降にパソコン MPU の生産調整が予定されており、当社主力の銅表面処理剤販売が日本と台湾で落ち込むと予想されるほか、欧州市場の回復が今期中には困難と見込まれるためであります。また、日本国内の電子基板製造業者の中で関東地域を中心に工場の閉鎖や合併、海外移転など業界の再編が進んでいるため下期に影響が出てくるものと考えております。

連結経常利益は、当初予想に対して 1 億 59 百万円減の 6 億 11 百万円(当初予想比 20.7%減、前期比 15.4%増)、単体経常利益は、61 百万円減の 3 億 39 百万円(当初予想比 15.3%減、前期比 18.2%増)を見込んでおります。

連結当期純利益は、当初予想に対し 1 億 50 百万円減の 3 億 20 百万円(当初予想比 31.9%減、前期比 10.9%増)、単体当期純利益は、46 百万円減の 1 億 86 百万円(当初予想比 19.9%減、前期比 23.8%増)となる見込みであります。

これら利益修正の理由は、薬品の売上高の減少によるものであります。

なお、中間・通期ともに対前期比では売上・利益ともに上回る計画を立てております。これは当社を取り巻く経営環境の分析や調査から前期(平成 14 年 3 月期)が電子基板業界の景気底であったとの認識に基づくものであります。

4 . 近況のご報告

当社を取り巻く当面の環境に対する当社の対応方針は以下のとおりであります。

顧客の満足度を高める製品販売に注力します。

出荷量では前期に比し増加傾向にあるものの、販売価格面での厳しさが続くと考えております。しかし、当社では顧客が当社薬品をご利用いただくことで、製品の歩留りや生産効率の向上を実現できる薬品開発に努めることにより、製品販売価格の下落を極力回避できるように対応いたします。これは顧客にとって使用する薬品自体の価格は若干高くても、当該薬品を用いることによって様々なメリットが電子基板生産のトータルコストを低減することにつながり、結果的に顧客の満足度を高められると考えております。

中国地域でのマーケティングを一段と強化いたします。

中国では電子基板製造が比較的好調に推移しており、特に華南地域においては活況を呈しております。それに対応するため当社は 10 月より研究開発センターの専門技術者を華南地域に駐在させ、地域顧客に対する技術サポート体制を万全とするよう努めております。また同地域には日系企業が多いため、日本国内で多くの実績を持つ営業部門のスペシャリストの定期派遣も 10 月より開始しております。

日本国内における電子基板業界の再編への対応にも万全を期します。

今期は関東地区を中心に工場閉鎖や統合、海外移転等約 20 件の再編が起きております。これにより直ちに国内の電子基板生産量が大幅に減少するとは思われませんが、当社はこれらの動きに対応するため、一層の与信管理の徹底に努める所存であります。また、国内から海外への生産移転に伴う販売量の落ち込みを最小限に留めるよう海外の販売力



MANUFACTURES OF CHEMICALS, EQUIPMENT AND ABRASIVES FOR PCB FABRICATION.

MEC Press Release ReNo:34-07

HEAD OFFICE: 3-95 SYOWA-DORI AMAGASAKI, HYOGO-KEN, JAPAN TEL 81-6-6414-3451

E-mail info@mec-co.com URL <http://www.mec-co.com/>

強化に努めてまいります。

当社製品の新規用途開発や新分野への新製品投入の促進を図ります

先に発表いたしました黒化処理代替プロセスの新製品「BO-7770V」をはじめ電子基板製造工程における未開拓の分野へ今後も新製品を積極的に投入して参ります。また、当社の強みとする既存の銅表面処理の分野においても超精密を要求されるものに対応する薬品から汎用的な分野までを対象とする薬品の開発や製品投入によって事業基盤の強化を図って参ります。

以上